

# 整形外科のこの1年

整形外科医長 末永直樹

## 人事異動

平成8年度は、故小林昌幸医長亡きあと11月から、末永、織田、西池の3人で4人目の補充が無い状態で3月まで診療を行いました。他科の先生方、院内のスタッフの方々、また近隣市町村の先生方に多大なご迷惑をおかけしたことをこの場で陳謝したいと思います。北大整形外科医局のとりはからいで平成9年度は織田に代わり高橋、西池に代わりその2年上の加藤、山根の1名増員のスタッフで望むことになっています。

## 診療状況

外来は午前のみで、再来を毎日、新来を月、水、金行っています。

1日の平均外来数は152人であり、昨年とほぼ同様であり、外来診療を予約制で行っている結果と思われます。入院は5階西病棟の48床で対処しておりますが年間の入院数は443名で、一人あたりの平均在院日数は23日、ベッドの稼働率は12月に入院と退院日を同一日にしてから94%以上となっております。そのため未だ治療途中にて他院に願ひせざるを得ない状況であります。他院の先生方に深く感謝したいと思います。

## 手術数および内容について

手術数は517例と過去最高でした(図1)。その内訳で特徴的なのは、大腿骨頸部骨折手術(10%)、肩関節手術(6%)およびMajor Amputation 3例4肢を含む四肢切断症例が21例(4%)と多かつ

たことでした。今後も高齢者におこりやすい大腿骨頸部骨折やMicrosurgeryを要する四肢切断の症例が危惧されます。

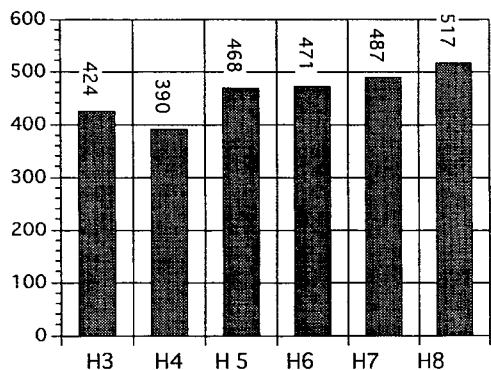


図1：手術数の変遷

## 論文、学会活動について

論文は発行されたもの1編、in printが8編でした。学会発表は、国際学会1題、全国学会5題および地方学会7題の計13題でした。来年度も今年度以上にリサーチを行うことにより、より良い治療が行えるよう、努力していきたいと思っています。

## おわりに

当科スタッフが少ないこともあり院長先生を初め、他科の先生方、また多くの院内スタッフの方々に、多大なる御迷惑をおかけしたことをこの場で陳謝してこの稿を終えたいと思います。